

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL : 019-623-5575
FAX : 019-623-5576

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

物価高騰で失敗しない工場・倉庫づくりについて

国内では、2020年1月にコロナ感染症第1例が報告され、3年を迎えました。

コロナ不況とともに、ウクライナ危機や日米の金融政策の影響も相まって、生活必需品を中心に物価高の高騰が続いています。

工事・倉庫の建替えなどでも、予算と価格が合わないとお悩みの方も多いのではないのでしょうか。

今回は、物価高で失敗しない上手な工場・倉庫づくりについてご紹介します。

工場・倉庫づくりのコストダウン手法

コストを最小限に抑えたい場合は、“持たない経営”も考えられます。自社の手間や負担、リスクを減らすアウトソーシング手法も検討しましょう。

ビジネスの性質上、工場・倉庫が必要と判断される場合は、①テナント入居での賃貸契約、②土地を借りて自社の工場・倉庫を建てる借地契約、③土地・建物を自社で購入する売買契約などの方法があります。

①、②、③の順に初期投資の負担は軽くなりますので、自社の経営戦略も踏まえて出店方法を検討しましょう。

既に工場・倉庫をお持ちで工場・倉庫の新築・改修・移転・建て替えをお考えの場合は、建物構造の見直しが有効です。

建設工事金額の中で最も金額が高いのが建物構造（躯体工事）です。

例えば、資材価格が値上がりしている鉄骨を、重量鉄骨から軽量鉄骨に変更するだけで、大幅なコストカットが期待できます。

①木造、②鉄骨造（S造）、③鉄筋コンクリート造（RC造）の順に初期投資の負担は軽くなりますので、建設計画の際に比較検討してみてください。



老朽化の著しい製造工場

資材価格高騰に対する工場・倉庫づくりの対策とは？

補助金活用による初期投資の負担軽減

建物・設備のリニューアルでは、国や自治体の補助制度も活用できます。

2023年は、以下の補助金が継続されることが決まっています。

①事業再構築補助金

申請類型・従業員規模に応じて、500万円～5億円の補助額上限

②ものづくり補助金

申請類型・従業員規模に応じて、750万円～3,000万円の補助額上限

申請にあたっては事業計画書の作成が必要となります。認定支援機関となる銀行や行政書士などにも相談してみましょう。

まとめ

破損・老朽化が著しく耐用年数を過ぎた工場・倉庫は、早急な対応が必要ですが、資材価格高騰は引き続き続いていくものと見られます。

このため、予算が合わなければ計画のグレードダウンも検討する必要があります。

既存の付き合い先の建設会社の商品・価格を基準に、競合他社メーカーの価格・機能・デザイン等で比較を行っていきましょう。

本業により多くの投資ができるよう、ぜひ早めの対策をご検討いただけますと幸いです。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはこちら



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

(お問合せ窓口: 牟田、高村)

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで